

## 第30回●シンポジウム・パークスターン2016

# 「これからだー開花を待つパキスタンの潜在力」

- ◇とき 11月26日(土) 10:30～17:45 (18:00より懇親会)
- ◇ところ 日本大学文理学部3号館3408室(東京・桜上水)
- ◇会費 会員1,500円・一般2,500円・学生500円  
／懇親会費3,000円
- ◇定員 70名(先着順)
- ◇お申し込み (公財)日本・パキスタン協会 Tel.03-5327-3588  
e-mail: kyokai@japan-pakistan.org

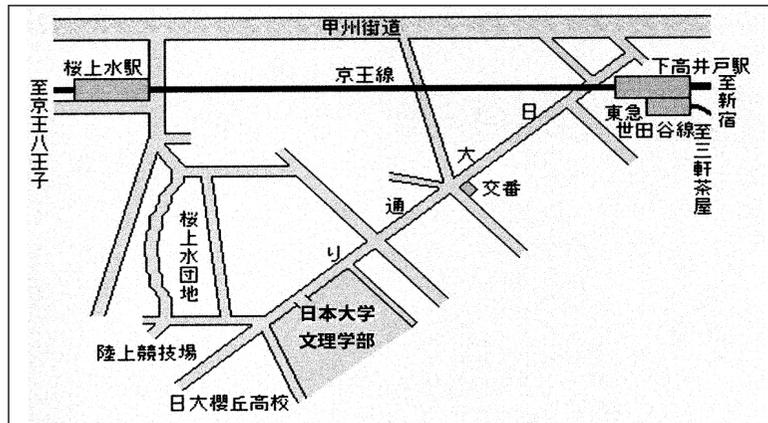
### ■第1部：講演と質疑応答(敬称略)

ご挨拶 今泉 濬 (公財)日本・パキスタン協会会長

ご挨拶 ファルーク・アーミル 駐日パキスタン大使

「最近のパキスタン情勢」

谷本卓也 外務省 南部アジア部 南西アジア課 課長補佐



主催：公益財団法人 日本・パキスタン協会



### ●「これからだー開花を待つパキスタンの潜在力」

- ナツメヤシ(デーツ)とラクダに託す夢/平島成望(明治学院大学名誉教授)  
灼熱の砂漠を進むキャラバンを支えたのは、ラクダのミルクとデーツであった、という点に着目した、現在構想中のJICAプロジェクトの一端を紹介する。
- 豊かな言語文化が育むネットワーク/山根 聡(大阪大学大学院言語文化研究科教授)  
パキスタンは、ウルドゥー語や地域諸語、英語による多様な言語文化を持つ。人々をつなぎ、メディアや政治・社会運動を育む潜在力としての言語文化を紹介する。
- 教育を考える～子どもの力、市民の力/小出拓己(公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン国内事業部長)  
若年人口の増加によって活力にあふれるパキスタン。すべての子どもたちへの教育の提供が潜在力の開花につながる。
- 活動的・魅力的なパキスタンの働く女性たち/常見藤代(写真家・作家)  
イスラームのパキスタンでの男は仕事、女は家庭という伝統的考え方はブットー首相のころから変化し、女性も多くの分野で活躍して家庭と両立させている。
- 舞台の奥行きと深さ/村山和之(中央大学・立教大学兼任講師)  
過激なイスラーム一派による排斥運動がもたら報道されるが、演劇や音楽の舞台は強かに存在する。パキスタンが世界に誇るパフォーマンスの舞台を紹介したい。
- パネル・ディスカッション(司会/丸山純)

### ■第2部：懇親会

第2体育館地下「さくら」

日本大学文理学部

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水3-25-40 電話03-3329-1151(代)

交通：京王線「下高井戸」駅、「桜上水」駅下車 <http://www.chs.nihon-u.ac.jp>